



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬株式会社

コード番号 4514 URL <http://www.aska-pharma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小林 秀樹 TEL 03-5484-8366

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	24,316	15.2	1,332	135.6	1,455	111.4	1,275	222.2
28年3月期第2四半期	21,107	△9.0	565	△47.1	688	△41.5	395	△52.6

(注1) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,204百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 △22百万円 (△101.7%)

(注2) 表示方法の変更に伴い、平成28年3月期第2四半期の営業利益を506百万円から565百万円に変更しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	45.67	—
28年3月期第2四半期	14.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	60,698	36,977	60.9
28年3月期	57,478	35,961	62.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 36,977百万円 28年3月期 35,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
29年3月期	—	7.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	11.1	1,800	40.3	2,000	31.4	1,700	142.5	60.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（平成28年11月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	30,563,199株	28年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,623,302株	28年3月期	2,637,602株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	27,932,939株	28年3月期2Q	27,863,822株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 主力品の売上高	9
(2) 臨床開発状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高は243億1千6百万円、前年同期比15.2%増の増収となりました。同累計期間の利益面につきましては、販売費及び一般管理費が前年同期比ほぼ横ばいとなる一方、増収に伴う売上総利益の増加等を受け、営業利益13億3千2百万円（前年同期比135.6%増）、経常利益14億5千5百万円（前年同期比111.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億7千5百万円（前年同期比222.2%増）といずれも増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①医薬品事業

LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤リュープロレリンの売上が大幅に伸長したことに加え、カンデサルタンに続く2製品目のオーソライズド・ジェネリックとして本年3月に発売したカムシア配合錠の寄与等により、売上高は220億2千万円（前年同期比16.4%増）、セグメント利益は24億5百万円（前年同期比58.6%増）の増収増益となりました。

②その他

動物用医薬品、臨床検査、医療機器、食品等の各事業を展開しているその他事業の業績は、動物用医薬品事業が堅調に推移した結果、売上高22億9千5百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益1億2千2百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ32億1千9百万円増加し、606億9千8百万円となりました。これは主に商品及び製品等は減少しましたが、現金及び預金および受取手形及び売掛金等が増加したためであります。

負債につきましては、22億3百万円増加し、237億2千万円となりました。これは、短期借入金等は減少しましたが、流動負債のその他等が増加したためであります。

純資産につきましては、10億1千6百万円増加し、369億7千7百万円となりました。これは株価下落によりその他有価証券評価差額金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したためであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から1.7ポイント低下し60.9%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ28億5千9百万円増加し、83億2千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、48億9千1百万円（前年同期は32億4千2百万円の減少）となりました。これは売上債権は増加しましたが、税金等調整前四半期純利益および減価償却費の計上や仕入債務およびその他の負債が増加したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、2億4千万円（前年同期は26億9千3百万円の減少）となりました。これは有価証券の償還はありましたが、主に有形固定資産および投資有価証券の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、17億9千1百万円（前年同期は14億3千6百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金および長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半連結累計期間における業績の進捗状況等を踏まえ、平成28年5月12日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成28年11月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,462	8,321
受取手形及び売掛金	8,566	10,419
商品及び製品	7,777	6,499
仕掛品	1,205	1,448
原材料及び貯蔵品	2,143	2,485
その他	1,734	1,872
貸倒引当金	△11	△3
流動資産合計	26,878	31,043
固定資産		
有形固定資産	13,801	13,464
無形固定資産	3,296	3,832
投資その他の資産		
投資有価証券	8,985	8,520
その他	4,539	3,861
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	13,501	12,357
固定資産合計	30,599	29,654
資産合計	57,478	60,698
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,784	4,687
短期借入金	2,458	1,229
賞与引当金	958	987
その他の引当金	339	428
その他	3,451	6,228
流動負債合計	10,992	13,561
固定負債		
長期借入金	3,250	2,875
退職給付に係る負債	6,983	6,887
その他の引当金	244	243
その他	46	152
固定負債合計	10,524	10,159
負債合計	21,517	23,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	851	851
利益剰余金	34,759	35,839
自己株式	△2,410	△2,402
株主資本合計	34,398	35,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,984	1,870
退職給付に係る調整累計額	△422	△378
その他の包括利益累計額合計	1,562	1,491
純資産合計	35,961	36,977
負債純資産合計	57,478	60,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	21,107	24,316
売上原価	12,732	15,023
売上総利益	8,375	9,292
返品調整引当金繰入額	△2	3
差引売上総利益	8,377	9,288
販売費及び一般管理費	7,812	7,956
営業利益	565	1,332
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	101	173
不動産賃貸料	61	66
その他	20	25
営業外収益合計	184	264
営業外費用		
支払利息	7	10
固定資産処分損	4	41
不動産賃貸費用	29	57
その他	20	33
営業外費用合計	61	141
経常利益	688	1,455
税金等調整前四半期純利益	688	1,455
法人税、住民税及び事業税	63	548
法人税等調整額	207	△367
法人税等合計	271	180
四半期純利益	417	1,275
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	395	1,275

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	417	1,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△450	△114
退職給付に係る調整額	10	43
その他の包括利益合計	△439	△70
四半期包括利益	△22	1,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△43	1,204
非支配株主に係る四半期包括利益	21	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	688	1,455
減価償却費	753	1,174
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	135	△32
受取利息及び受取配当金	△102	△173
支払利息	7	10
売上債権の増減額(△は増加)	△985	△1,852
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,271	693
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,196	888
未払消費税等の増減額(△は減少)	△328	395
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額(△は減少)	△144	—
その他の負債の増減額(△は減少)	△705	1,890
その他	433	223
小計	△2,716	4,674
利息及び配当金の受取額	102	172
利息の支払額	△7	△9
事業再編による支出	△1	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△619	53
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,242	4,891
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△700	△200
投資有価証券の売却による収入	700	500
有形固定資産の取得による支出	△1,083	△558
無形固定資産の取得による支出	△1,559	△40
その他	△50	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,693	△240
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,150	△1,200
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△29	△404
自己株式の純増減額(△は増加)	9	7
配当金の支払額	△194	△195
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,436	△1,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,499	2,859
現金及び現金同等物の期首残高	9,574	5,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,075	8,321

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	18,924	2,182	21,107	—	21,107
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	24	24	△24	—
計	18,924	2,207	21,131	△24	21,107
セグメント利益	1,516	126	1,643	△1,078	565

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額△1,078百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	22,020	2,295	24,316	—	24,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	21	21	△21	—
計	22,020	2,317	24,337	△21	24,316
セグメント利益	2,405	122	2,527	△1,195	1,332

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額△1,195百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高
(平成29年3月期 第2四半期実績)

(単位:億円)

品 目 名	前 期 平成28年3月期		当 期 平成29年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第2四半期 実績	年間実績	第2四半期 実績	年間見込	
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	40.7	91.1	63.3	126.3	55.4
甲状腺ホルモン剤 チラーゼン	25.0	47.8	28.1	54.6	12.1
高脂血症治療剤 リピディル	22.4	44.6	22.1	43.9	△ 1.4
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	11.6	27.2	19.1	37.8	64.2
前立腺癌治療剤 ビカルタミド	9.6	18.0	9.4	18.2	△ 2.4
高血圧症治療剤 アムロジピン	9.1	18.0	8.6	16.7	△ 5.6
抗甲状腺剤 メルカゾール	-	5.0	5.9	11.5	-
緊急避妊剤 ノルレボ	5.0	9.1	5.9	11.4	18.2
プロトンポンプ阻害剤 ラベプラゾール	5.0	10.4	5.0	9.8	△ 0.6
経口避妊剤 アンジュ	5.0	9.6	4.8	9.4	△ 4.4

※ カンデサルタン配合剤を含む

(2) 臨床開発状況

臨床開発状況

(平成28年11月現在)

平成28年11月7日
あすか製薬株式会社
東証市場第一部
コード番号 4514

区 分	品 名 (開発番号)	物 質 名 (一 般 名)	領 域・効 能	備 考
Phase II	(CDB-2914)	選択的プロゲステロン受容体調節剤	子宮筋腫	Laboratoire HRA Pharma,SA (フランス)より導入
Phase I	(AKP-501)	遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン(rFSH)	不妊症	JCRファーマ(株)からの導入および 共同開発

※前回からの変更点

申請中でありましたL-105については製造販売承認を取得いたしました。